

【図書館改修第2期:11/1~12/15(予定)】

11月から第2期工事がはじまりました。12月15日までの予定です。利用できるスペースが変わりますのでご注意ください(灰色部分は使えません)。

2階・自由閲覧室は12月15日まで使えません

2階・中庭側の閲覧室は11月8日から23日の予定で使えません

2階・西側閲覧室が利用できるようになりました

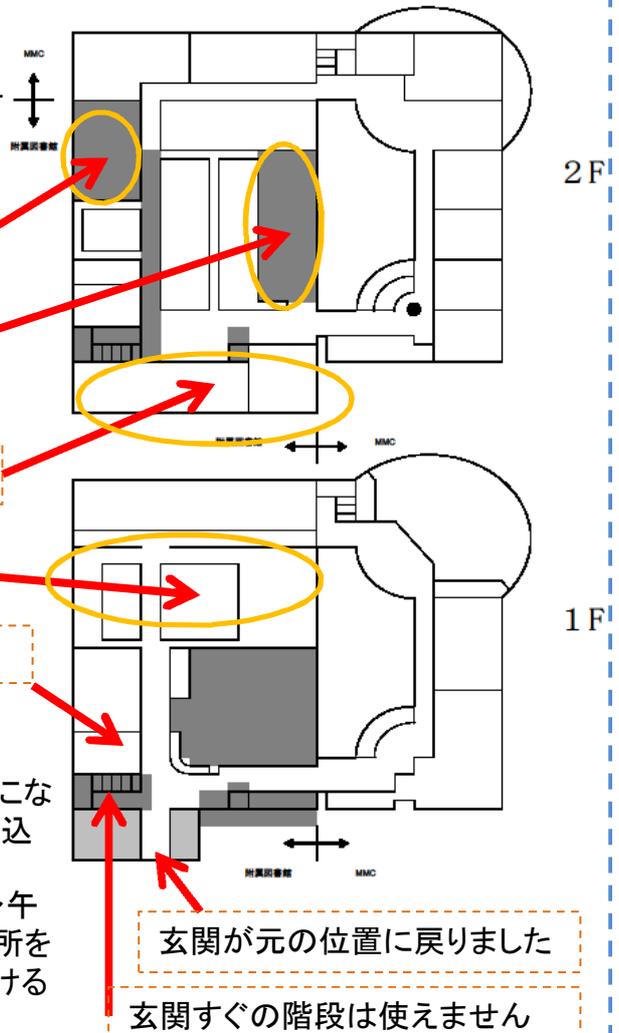
1階・閲覧室は使えます

1階・2階ともにトイレが使えるようになりました

【冬の暖房の予定】

図書館の暖房は、大学の暖房開始にあわせておこなう予定ですが、改修工事の関係で開始時期がずれ込む場合があります。ご理解ください。

なお、暖房時間は、例年と同様、平日:午前9時~午後8時、土曜日:午後1時~午後5時です。また、場所を限って時間外も(24時間)暖房できるスペースを設ける予定です。



玄関が元の位置に戻りました

玄関すぐの階段は使えません

【電子書籍トライアル メディカルオンライン】

日本語の電子ジャーナルを提供しているメディカルオンラインで電子書籍サービスが試行開始されたことを受け、電子書籍のトライアルを3月31日までおこないます。

50社以上の出版社が発行する1,500冊以上の電子書籍を利用することができます。この機会にぜひご利用いただき、感想を hqjouser @ までお寄せください。

利用は「電子書籍」のタブから



【出版倫理の基礎知識 セミナーを開催】

10月16日にElsevier社から高石氏を講師に迎え、臨床研究関連セミナーの一環として「出版倫理の基礎知識」に関するセミナーをおこないました。

MEDLINEに収録されている論文の中にも、その1%には何らかの形の「不正」が入っているとされているそうです。「不正」の代表的な事例は「捏造」「改竄」「剽窃」で、その約4割を占めるのが「剽窃」とのことです。他の論文等を書いてあったことを、そのまま自分の考えであるかのようにして論文に書いてしまうと「剽窃」になってしまうのですが、注意しなければならないのは、自分自身が以前に書いた論文の内容を別の論文に書く場合であっても「剽窃」に該当してしまう、ということです。きちんと「引用」さえしていれば「剽窃」と誤解されることはありませんので、このあたりは注意していく必要があります。最近では CrossCheck といった剽窃検知用のソフトウェアもあるそうです。

「剽窃」の他にもいくつかの事例について話されたあと、出版倫理に関する情報をまとめたウェブサイト COPE (Committee Of Publishing Ethics) が紹介されました。

<http://publicationethics.org/>

なお、附属図書館では、このセミナーにあわせて 10月1日から11月7日まで「研究倫理を考える」と題して展示・貸出をおこないました。関係する書籍は図書館にありますので、ぜひこの機会にご利用ください。



【Karger社 電子ジャーナル・トライアル】

Karger社が提供するカルガーオンラインジャーナルコレクションのトライアルを11月1日からおこなっています。医学・看護学関係の78タイトルが利用できます。

この機会にぜひご利用いただき、感想を hqjouser@ までお寄せください。



【附属図書館中期構想を策定しました】

附属図書館では、今後の図書館のあり方を検討するため、図書館長の下に附属図書館中期構想検討WGを平成26年1月に設置し、検討をおこなってきましたが、このほどその内容がまとまりましたのでご報告します。18の課題を次の6項目にまとめています。

1. 資料の整備
2. 利用環境の整備
3. 社会連携
4. 情報発信
5. 大学の課題への対応
6. その他

全文は附属図書館ウェブサイトに掲載する予定です。

